高等学校 令和4年度(1学年用) 教科 家庭 科目 家庭基礎

教 科: 家庭 科 目: 家庭基礎

 教 科: 家庭
 利

 対象学年組:第 1 学年 A組

教科担当者: (A組:高橋)

使用教科書: (『家庭基礎 自立・共生・創造』(東京書籍)

教科 家庭 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な 科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科日 家庭基礎

の日標・

17日 水延至紀 00日孫:		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
どの基礎的なことについて理解しているととも	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、 解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察し たことを根拠に基づいて論理的に表現するなど	けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振 り返って改善したりして、地域社会に参画しよ

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
第1章 星通す 【知識及び技能】・人の一生にかって、自己と他者が、社会との関わりから様々な生き方が、		【知識・技能】・人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 「思考・判断・表現】 生活資源を活用した生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む場に対して課題を解決する力を身に付けている。【主体的に学習に取り組む場に対して、課題を解決する力と協働し、よりに力、振り題の解等に向けて、生涯の生活設計について、課題の解等に上体的に取り組んだり、振り返っするとしたに、生活文化を離承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	0	0	0	4
第2章 人生をかくる 【知識及び技能】 ・人の一生について、自己と他者、 社会との関わりから様々な生き方が あることを理解する。 【思考・判断・表現】 家庭や地域のよりよい生活、多創造っ 一員としての役割を見たし家庭を必 くことの重要性につい取し、解決家を構想し、 別女が協力たし、原安家をを くことの重要性につい取しを し、解決家を構想し、 別を身に付けでする。 力を身に付けでする。 力を身に付けでする。 力に解析の自立と家族・家庭及び社、 り組んだり、振り返っしようとうも り組んだり、振り返っしようと自り りれんだり、振り返っしようと自り とともに、生活文化を継承し、自分を を家庭、地域の生活の充業向上を図 る。		【知識・技能】 生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性でかいて問題を見いだして課題を設定き、解決に策をとして観想、実践を評価・改善と現するなどとで課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築について、青年期の自立と家法体的に取り組む機関について、青年期の自立と家法体的に取り組むが表面という。 「最初のでの改善したりして、地域社会にあり、振り返って改善したりして、地域社会にあり、振り返って改善したりして、地域社会とあしている。	0	0	0	5
第3章 子どもと共に育つ 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活について理解する。 【字供の健やかな発達のために親や家庭とない地域や社会の果たすといたして実施をしいいて問題を見いだして実施をしたことを提りに基づいて課題を設け、会して課題を設け、人間性等】 はるなた人々と協働し、よりよい社会ないで、課題の構築に向けて、課題の解決に主体を当めの構築に向けて、課題の解決に主体としてについて、課題の解決に主体とは、よりよい社会が、振り返りは、上り、振り返かに、地域社会にあるために、地域社会にあるために、とない、地域社会にあるために、とない。		【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想した。とを根拠に基づいた。理解で発生の大きなが、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	0	0	0	6
定期考査	1 学期期末考査・考査返却		0	0		2

	第8章 住生活をつくる 【知識及び技能】 住生活を取り巻く課題など、住まいめと人との関わりについて理解を深める。 ライフステージの特徴や可楽学的にし、住生活の特徴に可ない。 「思考力、判断力、表現力等」 主体的に住生活を変むことがした。 はないでない。 主体的に住生活を変むに配慮題をを使したた住、実践が関係では、実践がでいる。 にし、実践が関係がでいる。 にし、実践が関係では、対して、実践がには、実践が関係がで解決する。 「生体的に学生とて課題を設定し、解決等察表表情にたし、実践がによりについ、解決等のではだし、実践がに、対したとを根拠に基別を解決して、関連が、といいでは、対した、実践をは、は、対した、対した、対した、対したとなど、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	1住生活の変遷と住居の機能 2安全で快適な住生活の計画 3住生活の文化と知恵	【知識及び技能】 住生活を取り巻く課題など、住まいと人との 関わりについて理解を深めている。 ライプステージの特徴や課題に着目し、住生 活の特徴について科学的に理解している。 1 起考力・制断力、表現力等】 主体的に住生活を含むことができるよう防災 などの安全配慮した住活とまかづくりりに ついて問題を見いだして課題を設定し、解決 を構想し、実践を評価・改善し、考別した ことを根拠に基づいて論理的に表現するなと して課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に空智に取り組めに表現するなと して課題を解決する力を身に付けている。 「様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に 前けて、住生活の科学と文化につ版り返っで 一般がに主体的に取り組んだり、振り返っ で善したりして、地域社会に参画しまつとす るとともに、生活文化を継承し、自分や家 庭、地域や生活の光実向上を図るために実践 しようとしている。 【知識及び技能】 3.幼児期のより容強達と生活について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 子供の健やかな発達のために親や家族及び地	0	0	0	10
	第4章 【知識及び技能計 微に力を実に生きる 【知識及び技能計 微について理解する。 る。 名。 長現力等) 高齢者の自立生活を支えたさい。 家族生地域及び社会の果たたかに。 家族生地域及び社会の果たたかに。 家族生地域及び社会の果たたかに。 の重要を設定し、解決、業額、生活を支えたすといる。 重要を設定し、解決、業額、生活を支えたすと、 を評価・改善し、報力するなどる。 、学びににか、解決する力を身に付け、 、学びに向かった。 、学びに向かった。 、学びに向かっと協働的にす、 、学びに向かった。 、学びには、 、と、 、と、 、会の構築について、 、課題の解決にさいまい社と 福祉について、 、課題の解決にさび、 、と、 、と、 、と、 、は、 、と、 、は、 、と、 、と	1 超高齢・大衆長妻社会の到来 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの超高齢社会	【知識・技能】 高齢期の心身の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 「思考・判断・表現】 高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践と評価・改善し、実践と評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を脅に付けられた。 【主体的に学習に取り組心能度】 高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。	0	0	0	3
2 学期	第5章 東に生き、共に支える 【知識及び技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支 なる福祉や社会的支援について理解 「思考力、判断力、表現力等】 「家庭や地域及び社会の一員とて生活見い 自覚をもって共に支え合っ間決策を勢っての 自覚をもって共に支え合っ間決策考察と表 にし、実践を細心、改善の理を解決するだして課題を設定し、解決考察と表現 に大いて、実践ので論す考察と表現 に対けている。 「学びに向かう力、人間性等」 はなん々と協働、共生社会と的に取り に付けている。 の構築に向関係の構築には関めの構築に向りにするなどしたも に表した多いを に表したり、 に表したが には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる	【知識・技能】 生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 【思考・判断・表現】 家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について開題を見いだして課題を設定、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりとの構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解築に直がいて、共生社会と福祉について、課題の対策に主体的に取り組んだり、振り返っ改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	0	0	0	4
	経済生活を営む 【知識及び技能】	1情報の収集・比較と意思決定 2購入・支払いのルールと方法 3消費者の権利と責任 4生涯の経済生活を見通す	【知識・技能】 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう契約の重要性について理解している。 【思考・判断・表現】 生活における経済の計画について、課題の解 疾に主体的に取り組んだり、振り返って改善 したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 責任ある消費について問題を見いだ日で課題を を設定し、解決策を構じ、実践を事価・改善 善設定し、解決策を構し、実践を可いて課題 を設定し、解決策を構し、実践を可いた日で課題 を設定し、解決策を構し、実践を可いて論理的 に表現するなどして課題を解決する力を身に 付けている。	0	0	0	8
	第10章 特統可能な生活を営む 【知識及び技能】 生活と環境との関わりについて理解 する。 【思考力、判断力、表現力等】 安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を解決する力を 身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分や家庭、地域の生活の充実向上 を図るために実践しようとしてい る。	1持続可能な社会を目指して	【知識及び技能】 生活と環境との関わりについて理解している。	0	0	0	2
	第6章 食生活をつくる 【知識及び技能】 食品の栄養的特質について理解する。 食品の課題との性質について理解する。 自己の調理上の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食の安全について問題を見いだして、 践を評価・改善し、考察したこくを 機拠に基づいて論理的に表現するな どして課題を解決する力を身に付 【学びに向かう力、人間性等】	1食生活の課題について考える 2食事と栄養・食品 3食生活の選択と安全 6食生活の文化と知恵 7これからの食生活	【知識・技能】 健康や環境に配慮した食生活について理解している。 【思考・判断・表現】 食の安全について問題を見いだし考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、食の安全について問題を見いだしませい。 いだして課題を数定し、解決策を構想して課題を解決する力を身に付けている。	0	0	0	10
	安全・環境・健康など食生活に関わ 本は如本流和に判断し、たい担照で 定期考査	2 学期期末考査・考査返却		0	0		2

	第7章 衣生活をつくる 【知識及び技能】 私たちが被服を着用するに至った, 社会的・文化的背景と被服の多様な 機能や特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 手持ちの被服を長期にあり着用することができるよう,管理や手入れ の工夫について考える。 【学びに向かう力、矢全・快適な女生 活を営むためのユニバーシルデザインの被服について理解を深める。	1被服の役割を考える 2被服を入手する 3被服を管理する 5これからの衣生活	【知識・技能】 被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 被服の機能性や快適性についてて課題を解決 する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 な生活と健康について、課題の解決に主体的 に取り組んだり、振り返って改善したりし て、自分や家庭生活の充実向上を図るために 実践しようとしている。	0	0	0	10
期	社会との関わりから様々な生き方が 様々な生きとの関射りから様々なな男子の ることを理解する。現現力等にこついと とを担解する。現現力等にこついと 生涯を見通し、自己の工名イルついと 行程、の家庭生活及び職業を記定し、 行程、の家庭生活及び職業を記定し、 行程、の家庭生活及び職業を提出し、 では関節を規想し、実践を評価とし、 等別として、実践を選択するなける。 間壁のに表現するなける。 間壁のに表現するなける。 情学がに向かう力、へいてり、 生涯の生活設計について、地域社会に 大院に主体的に取り組んで、地域自分を 変に、 を関し、 を変し、 を	1生活をデザインする	【知識及び技能】 「知識及び技能」 「知識及び技能」 「知力りから様々な生き方があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え。ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を評価・改善、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 「主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活を開発し、以践ら評価担めに対している。 「主体的に学習に取り組む態度】 様々な人々と協働しよりより、社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善としたりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	0	0	0	2
	定期考査	3 学期期末考查·考查返却		0	0		2
							70